



2025年7月9日
株式会社オリジン

吉見工場テクノ & ロジセンターにPPAによる オンサイト太陽光発電サービスを導入

年間約190t相当のCO2排出量削減効果を見込む

株式会社オリジン（本社:埼玉県さいたま市、代表取締役社長:稲葉英樹、以下 当社）は、当社吉見工場（埼玉県比企郡吉見町）内の新建屋である吉見工場テクノ & ロジセンター（以下 吉見TLC）において、オンサイトPPAモデル（注1）による太陽光発電設備を当社事業所では初めて導入し、本年7月より稼働を開始しました。



吉見工場テクノ & ロジセンターに設置した太陽光パネル

このたび、吉見TLC屋根上に容量459.0KWの太陽光パネル900枚を設置し、容量300.0kWのパワーコンディショナーを具備した太陽光発電設備の稼働により発電される電力（再生可能エネルギー）を当社がPPA事業者より購入し、吉見工場（工場本棟、吉見TLC）と隣接する当社子会社の埼玉オリジン株式会社の製造ラインの電力として自家消費します。設置した太陽光パネルの年間想定発電量は約485,800kWhで、本設備の稼働により、年間約189,462kg相当（注2）のCO2排出量を削減する効果が見込まれます。

当社グループでは、サステナビリティ基本方針のなかで「気候変動などの地球環境問題への配慮」を掲げ、温室効果ガス（GHG）排出量削減に向けた製品の技術開発や生物多様性の取り組みなどの活動に全社を挙げて取り組むこととしています。

また、2050年のカーボンニュートラル実現に向け、自社分（国内事業所）（Scope 1, 2）のCO2排出量を2030年に半減する目標を定め、同時にサプライチェーンのCO2排出量（Scope 3）を算定し、影響度の大きな事業活動を特定し、その削減に向けた新技術開発や新製品開発に取り組んでいます。
(<https://www.origin.co.jp/sustainability/environment/protect/>)

これまで、省エネ設備の導入等に加え、2024年10月には本社事業所（埼玉県さいたま市）の電力をグリーン電力に切替えています。今回の吉見TLCへのPPAモデルによる太陽光発電設備の導入により、事業活動に伴うさらなるCO2排出量の削減に努めてまいります。

今後も、当社グループでは、製品・サービスの提供を通じて社会的課題を解決することで、持続的な社会づくりに貢献し、企業価値向上に努めて参ります。

（注1） Power Purchase Agreement（電力販売契約）モデル
PPA事業者が事業者の建物の屋根などに、太陽光発電設備を設置・所有し、発電した電力を事業者が購入するビジネスモデル。

（注2） 東京電力エナジーパートナー2022年実績値係数0.390kg-CO2/kWh

【取り組み概要】

導入拠点：吉見工場テクノ＆ロジセンター（埼玉県比企郡吉見町）

稼働開始：2025年7月

発電容量：300.0kW（パワーコンディショナー50.0kW×6台）

年間想定発電量：約485,800kWh（189,462kg-CO2/年 削減見込み）

※ニュースリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。最新の情報と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。